



創業50周年記念特別企画

ヨーロッパ、ブラジル、カラコルム vol.7





メルヘンの草原からのナンガパルバット(8,126m) (パキスタン)



大草原が迫るピレネー山脈のカバル三ヶ圏谷(ピレネー)



長大なバルトロ氷河を歩く(パキスタン)



地熱地帯ランドマンナロイガルを歩く(アイスランド)



レンソイスの白砂漠を歩く



シスパーレ(7,611m)を望みながらハイキング(パキスタン)

◀表紙写真:世界第2の高峰K2(8,611m)の南面を正面から望む(パキスタン)

目次

- 目次 2
- お申込みからご出発まで、利用予定ホテルリスト 3
- JALプレミアムエコノミークラスで行く
花の宝庫ピレネー山脈ゆったりハイキング11日間 4~5
- 火と氷の島アイスランド・ロイガヘル・トレッキング12日間 6~7
- ブラジルの絶景レンソイス白砂漠トレッキングと
アマゾン・ジャングルロッジ滞在 13日間 8~9
- ナンガパルバット・メルヘンの草原トレッキングと
桃源郷ファンザ9日間 10~11

- 桃源郷ファンザとグレート・カラコルム
展望トレッキング10日間 12~13
- カラコルムの名峰 ディラン・ラカポシ
ベースキャンプ・トレッキング11日間 14~15
- K2・バルトロ氷河トレッキング24日間 16~17
- K2・バルトロ氷河とガツシャールム
ベースキャンプ・トレッキング29日間 18~19

お申し込みからご出発まで

- ① 仮予約** お電話またはメールまたはWEBサイトにて仮予約を受け付けておりますので、お早めのご予約をおすすめいたします。
 - ② 旅行手続きのご案内** 仮予約をいただいたお客さまに、参加お申込書と旅行手続きのご案内をお送りいたします。
 - ③ 正式なお申込み** 参加お申込書が届き次第、必要事項をご記入いただき、アルパインツアー各営業所宛てにご返送ください。また、同時に、お申込み金**5万円**を下記銀行口座までご送金ください。
 - ④ ご旅行代金ご送金** ご出発の約1ヵ月前頃にご旅行代金のご請求書をお送りいたします。残金をご送金ください。
 - ⑤ 「最終の案内」送付** ご出発の10日前頃までに「最終日程表」「ご集合案内」をお送りさせていただきます。
※取り消し料(P.59の旅行条件をご参照ください。)
- ご不明な点は、当社各営業所へお気軽にお問い合わせください。

お申込金振込先 口座名: アルパインツアーサービス(株)

東京	●三菱UFJ銀行/虎ノ門支店 【普通口座】1610094 ●みずほ銀行/新橋支店 【普通口座】0713984 ●三井住友銀行/日比谷支店 【普通口座】7227655
名古屋	●三菱UFJ銀行/名古屋駅前支店 【普通口座】0354044 ●みずほ銀行/名古屋駅前支店 【普通口座】0815754 ●三井住友銀行/名古屋駅前支店 【普通口座】6826272
大阪	●三菱UFJ銀行/大阪西支店 【普通口座】0884502 ●みずほ銀行/大阪支店 【普通口座】1509307 ●三井住友銀行/備後町支店 【普通口座】1040708
福岡	●三菱UFJ銀行/福岡支店 【普通口座】1989575 ●みずほ銀行/福岡支店 【普通口座】1372635 ●三井住友銀行/天神町支店 【普通口座】1074981

日程表の見方(ご案内とご注意)

歩行時間を目安にしたツアーのレベル

- 一日の歩行時間が1~2時間のとてもやさしいコース
 - 一日の歩行時間が2~4時間のハイキングが主体のコース
 - 5時間以上の歩行が4日以上含まれるやや健脚向きコース
 - 8~10時間程度の歩行が数日または長期間にわたっての歩行が含まれる健脚向きコース
 - 長時間歩行が数日含まれ、歩行スピードが要求されるハードコース
- ※ 2と3の間になります。 ※ 3と4の間になります。

最高宿泊地の高度の表示

- 標高3,000m未満。
- 標高3,000m以上~3,800m未満。高山病の影響ややあり。
- 標高3,800m以上~4,500m未満。高山病の影響ややあり。
- 標高4,500m以上。高山病の影響が強くあります。(体調や個人差によって影響の度合いは異なります。)

健康診断 標高3,800m以上で宿泊のため、当社所定の健康診断が必要です。

宿泊施設の表示 泊田:ホテル泊/泊口:ロッジ泊/泊画:山小屋泊/泊T:テント泊

健康診断のお願い ...ご自身の健康状態を知ることは安全管理の第一歩です。

75歳以上のご参加者の方には、ご健康に支障がない旨を確認できる健康診断書等のご提出にご協力いただいております。なお標高3,800m以上に宿泊する高所ツアーでは所定の健康診断をお願いしております。※検診等にかかわる費用は別途必要となります。

ビザ(査証)について

当カタログでご案内の旅行先で必要なビザ(査証)は、各ページに明記しております。お客様の都合による緊急の申請や為替レートの変動等により、記載の料金と異なる場合があります。また、料金やビザの有無は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

燃油サーチャージについて

世界的な原油価格高騰とその長期化で各航空会社は「燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)」(国土交通省認可)を航空運賃に追加してきました。このためご旅行代金ご請求に際しまして「燃油サーチャージ」が設定されている場合には加算してご請求させていただきます。なお、近年原油価格の下落もあり、ご負担は軽減してきております。今後も燃油サーチャージ額の変動に合わせてご請求させていただきますが、何卒皆さまのご理解をたまりませんようお願い申し上げます。

海外の空港税は旅行代金に含まれています。

このカタログに掲載されている海外ツアーの海外での空港諸税は、旅行代金に含まれています。これにより、現地で空港諸税を別途お支払いいただく煩わしさがなくなります。なお、日本国内の空港施設使用料及び旅客保安サービス料、2019年1月7日より導入される国際観光旅客税は旅行代金に含まれておりません。

+ 健康診断のお願い +

ご自身の健康状態を知ることは安全管理の第一歩です

① 75歳以上のご参加者の方

75歳以上の方には、ご健康に支障がない旨を確認できる健康診断書等のご提出にご協力いただいております。※検診等にかかわる費用は別途必要となります。

② 標高3,800m以上に宿泊する高所トレッキングにご参加の方

「標高3,800m以上の高所に宿泊するコース」にご参加の場合、所定の健康診断を受けていただきます。高山病の影響は個人差はありますが標高3,000m台後半に宿泊する場合から顕著に現れてきます。アルパインツアーでは皆様の安全なご旅行のために専門医(日本登山医学会・登山者検診ネットワーク)のご協力のもと、所定の高所健康診断システムをとっておりますので、ご協力をお願いいたします。高所トレッキングにお申し込みの方は、申込書受付後、健康診断のご案内をお送りします。この健康診断は登山者検診ネットワークに参画している医療機関または最寄りの病院で受診していただき、専門医師が判定しております。判定結果によりましては、高山病の影響の少ないコースへ変更をお願いすることがございますので、予めご諒承くださいますようお願い申し上げます。※検診等にかかわる費用は別途必要となります。

なお、この健康診断は高山病対策のひとつであり当然ながら高山病にかからない保証ではありません。高所では高所順応に充分留意し安全なトレッキングを常に心がけてください。

**該当コースへの
お申込みはお早目に!**

外務省海外安全情報について

当カタログ記載の下記のツアー訪問地には下記の外務省海外安全情報が出されています。

(2019年1月20日現在)

① 「レベル1: 十分注意してください。」発出地域

□P8~9 ブラジルのサンパウロ市及びマナウス市

② 「レベル2: 不要不急の渡航はやめてください。」発出地域

□P10~19 パキスタンの全行程

※上記の海外安全情報が出されておりますが、当社自主基準を満たしているためツアーを催行します。

※外務省海外安全情報については外務省「海外安全ホームページ」でご確認いただけます。 <http://www.pubanzen.mofa.go.jp>

利用予定ホテルリスト

カタログ掲載の各ツアーでは、以下に表示したいずれかのホテルを利用しています。確定ホテル名は、ご出発前にお送りする「旅のしおり」に掲載してご案内します。

【ホテルのグレード】

- ⑤ デラックス、④ スーペリア
- ③ スタンダード、② 山岳地や郊外のホテル

アイスランド

レイキャヴィーク:⑤/アイスランド、グランド、フォス

パキスタン

イスラマバード:⑤/パールコンチネンタル、セレナ、ヒルビュー、ベストウエスタン、ホリ ディーン ギルギット:⑤/グランドコンチネンタル、キャノピー、ヘブン、レナ、ネクスス、チナールPTDC、リベリア、パールイン スカルド:⑤/シャンギラ、K2モーテル、コンコルディアモーテル、マッシュルームホテル、PTDC

ブラジル

イグアス:⑤/ベルモンド・ダス・カタラタス、ブルボン・カタラタス、レカ

ント・カタラタス、マアテルマス、シェラトン

サンパウロ:⑤/マリOTT、ブルマンSP、スラヴィエロ、シェラトン
サンルイス:⑤/ルゼイロス・サンルイス、ペスタナ、グランド、プリサマル、カルハウ・パリア、グリーン・スマート
パヘリーニャス:⑤/ポルト・プレギアス、グラン・ソラール、ペイラ・リオ、オルナ・ナウティカ

スペイン

スペイン アインサ周辺:④/モナステリオ ⑤/アインサ、アベトス、アルコス、クルゼ、サンチェス、セティレイ、パーゼニア、ペナ・モンタネサ、リオス、リベラ・バルセロ、ボルタニャ ウェスカ:④/アバウエス

カ、サンチャ・アバルカ、ボサダ・デラ・ルナ トルラ:⑤/アベトス、アルト・アラゴン、ヴィニャマール、ヴィラ・デ・トルラ、エーデルワイズ、オルデサ、フォンダ・バラリン、プハルエロ カルドナ:⑤/パラドール・カルドナ
バルセロナ:⑤/アヴェニェーダ・パレス、アッパ、アメリカ、アバガデー、アバサンツ、アバランブ ラ、ウサ・バイア、エヌエイチ、グランド・セントラル、グランハバナ、コパング、コロソ、ゴディコ、サン・モリッツ、シルケン、タバ、トリップ、バルシーノ、フィラパレス、ブティ・ハウス・オペラ・ガーデン、フロントエア、メリア、モンブラン、レジーナ、レヘンテ、カタローニャ、サンモリッツ、コンダート、NH、アメリカ、コンダート、アシャンブル、バルメス、ベストウエスタン、ダンテ・バルセロナプラザ

プレミアムエコノミークラスでベストシーズンのピレネーへ。魅力いっぱいのゆったり日程で楽しめます。

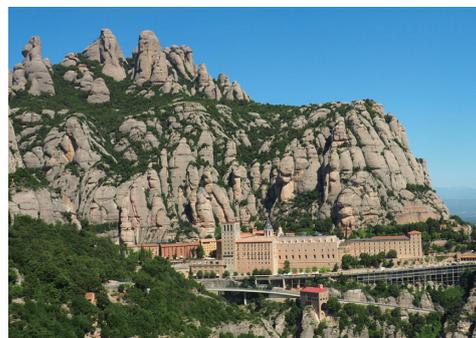


JALプレミアムエコノミークラスで行く 花の宝庫ピレネー山脈ゆったりハイキング 11日間

JALプレミアムエコノミークラスを利用して、ピレネー山麓の花が素晴らしい時期に、ピレネー山脈の絶景ポイント・トップ5を訪れます。フランス側とスペイン側の山麓の街と村ではそれぞれ2連泊をして、パラドールにも宿泊します。ちょっと贅沢な空の旅もお楽しみください。



▲岩壁がそびえるガバルニー大圏谷にはいくつもの滝が流れ落ちる(3日目)



▲のこぎり山という意味のモンセラットと修道院

JALプレミアムエコノミークラスで楽しむ空の旅

近ごろちょっとした贅沢として人気のプレミアムエコノミークラス。本コースではJALのプレミアムエコノミークラスを利用してピレネーへと旅立ちます。日程一日目は乗り継ぎをせずにロンドンのホテルで宿泊して体を休めて、翌朝ピレネーへと向けて出発するゆったり行程で、体への負担が少なくなるように配慮しました。ご出発時の優先チェックイン、日本の国際線出発空港でのラウンジ利用、機内への優先搭乗、そしてエコノミークラスに比べて、前後約30cm広いシート間隔や、一回り大きく見やすい12.1インチのモニターなど、快適な空の旅をお楽しみください。

※上記の座席は、日本／欧州間の往復区間のご利用です。



▲ピレネーユキノシタ



▲アツモリソウ



▲ピレネーイワタバコ



▲花咲くピック・デュ・ミディ・ドツソオの高原

ピレネー山脈でおすすめする絶景のハイキングを楽しむ

ピレネー山麓の花が素晴らしい6月に、ピレネー山脈でアルパインツアーが自信をもっておすすめする絶景ポイント・トップ5(ガバルニー大圏谷、ピック・デュ・ミディ・ドツソオ、ピニューマール北壁、オルデサ渓谷、トゥルモース圏谷)のすべてを訪ね、トゥルモース圏谷をのぞく4カ所でハイキングを楽しみます。4つのハイキングは、岩の円形劇場とも形容すべき大迫力のガバルニー大圏谷、火山によって作られた特徴的な姿のピック・デュ・ミディ・ドツソオ、フランス側ピレネーの最高峰であるピニューマール峰、両岸に900mもの岩壁がそそり立つオルデサ渓谷と、いずれも素晴らしい展望をお楽しみいただけるコースばかりです。



▲北壁が美しいピニューマール峰(右)の展望地へ(5日目)



▲大岩峰がそびえるピク・デュ・ミディ・ドッソオを展望しながらハイキング(6日目)

発着地 東京 **各地からの日本国内線当別プランあり。詳細は、お問い合わせください。**

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
6/ 8 (土)～6/18 (火)	¥832,000

- 燃油サーチャージ (2019年1月20日現在:目安約35,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員):東京から東京まで同行してご案内します。
- 最少催行人数:12人 ●食事:朝9回、昼8回、夕8回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。P.3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋利用追加料金:¥118,000
- 利用予定航空会社:日本航空

※ピレネー山中は、アルプスに比べホテルは質素となり、ポーターサービスが利用できなかったり、お部屋はシャワーのみとなる場合があります。あらかじめご了承ください。
 ※プレミアムエコノミークラスのお座席は、東京～欧州間の往復区間のご利用となります。欧州内の区間はエコノミークラスのお座席となります。

ピレネー山麓に滞在して 田舎の魅力を満喫する

ピレネー山麓にある、フランス側のガバルニーとルルド、スペイン側のトルラと3つの村と街にそれぞれゆったり2連泊します。ガバルニーとトルラは主にハイカーが訪れる山麓の村です。ピレネーでの静かな滞在をお過ごしください。ルルドは、ヨーロッパ中から人々が訪れるカトリックの聖地で、ご希望により毎晩行われるろうそく行列に参加することもできます。旅の後半で訪れるアインサは小さいながらも石造りが可愛い街で、城壁から望むピレネー山脈の展望は秀逸です。古い城塞を改装したスペインの国営ホテルとして有名なパラドール・カルドナの宿泊も魅力です。バルセロナのフラメンコ・ショーにもご期待ください。ゆっくりと旅を楽しむことができる人にこそおすすめの内容です。

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ロンドン 着	午前、東京発→ロンドンへ。着後、ホテルへ。 【ロンドン泊 ④】
2	ロンドン 発 トゥールーズ着/発 世界遺産 トゥールモース圏谷展望 ガバルニー 着	早朝、空港へ。朝→ロンドン発、フランスのトゥールーズへ。着後、 専用車でピレネー山脈へ向け出発。屏風のように岩がぐるりと取り囲む 世界遺産のトゥールモース圏谷 (2,200m)へ(約3.5時間)。 トゥールモース圏谷はフランス側ピレネー随一の規模を誇る圏谷です。 その後ガバルニー(1,357m)へ(約1時間)。 【ガバルニー泊 ④】
3	ガバルニー 滞在 世界遺産ガバルニー大圏谷 ハイキング	正面にそびえ立つ世界遺産のガバルニー大圏谷をハイキング。 高さ1,000m以上の岩壁が頂楼までそびえる “岩の円形劇場” と絶壁にかかる数々の大滝の景観が 圧巻です (徒歩約4.5時間/標高差約350m)。 【ガバルニー泊 ④】
4	ソウゲ高原 ハイキング ガバルニー 発 ルルド 着	典型的なピレネー山麓の景色が美しいゆるやかなソウゲ高原をハイキング。 絵のように美しい緑の草原から遠くにガバルニー大圏谷を望みます(徒歩約3.5時間)。その後、カトリックの聖地ルルド(400m)へ。 【ルルド泊 ④】
5	ルルド 滞在 ピニユマル峰 北壁展望ハイキング	ピレネー国立公園のボン・デスパニーユ(1,466m)へ(約1時間)。チェアリフト(代金個人負担)でひと登りし、ハイキング開始。 ゴープ湖畔(1,725m)にそって歩き、さらに奥へと沢沿いの道を登り、フレンチ・ピレネー最高峰のピニユマル峰(3,298m)北壁を望む好展望地(約2,000m)まで往復します (徒歩約4.5時間)。 往路を戻ります。 【ルルド泊 ④】
6	ルルド 発 ピク・デュ・ミディ・ ドッソオ展望ハイキング トルラ 着	朝、ピオーザルティギユエ湖(1,415m)へ(約2.5時間)。 独立岩峰ピク・デュ・ミディ・ドッソオ(2,884m)の展望が素晴らしい高原を往復ハイキング (徒歩約4時間/標高差約450m)。その後、 国境を越えてスペインのトルラへ(960m)。 【トルラ泊 ④】
7	トルラ 滞在 世界遺産オルデサ 渓谷ハイキング	終日、トルラ滞在。 世界遺産の雄大なオルデサ渓谷を往復ハイキング (徒歩約4～5時間)。 【トルラ泊 ④】
8	トルラ 発 アインサ旧市街 カルドナ 着 パラドール宿泊	美しい街アインサ に立ち寄り、その後、カルドナへ。カルドナでのご宿泊は標高506mの丘の上に建つ城塞を改装した 「パラドール・カルドナ」 です。パラドールの滞在をゆったりとお過ごしください。 【カルドナ泊 ④】
9	カルドナ 発 モンセラット バルセロナ 着 バルセロナ市内観光	バルセロナへ。途中、のこぎり山という意味の モンセラット へ。歩道を歩き、山腹の修道院を見下ろす展望地を往復します(徒歩約1時間)。その後、バルセロナで パエリア の昼食後、 世界遺産のサグラダ・ファミリア(入場) を訪れます。夜は、 フラメンコ・ショー をお楽しみください。 【バルセロナ泊 ④】
10	バルセロナ 発	朝、バルセロナ発→ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ、東京へ。 【機中泊】
11	東京 着	午前、東京着。 【機】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲モンセラットの展望地



▲中世の城塞を利用したホテルのパラドール



▲バルセロナのサグラダファミリア



▲フラメンコ・ショーでしめくくる(9日目)



▲ソウゲ高原の美しい風景



▲パラドールの瀟洒な館内の様子



▲アインサの可愛い石造りの街並み



▲スペイン名物のパエリアも楽しみ



火と氷の島アイスランド ロイガベル・トレッキング 10日間

アイスランド随一の人気を誇る「ロイガベル・トレッキング」にご案内します。荒涼とした地熱地帯ランドマンナロイガルからスタートし、苔むした断崖と雄大な氷河の山々が織りなす独特の景観が広がるソウルスモルク自然保護区への徒歩の旅はまさに「火と氷の島」を体感する変化に富んだ徒歩の旅です。



▲荒涼とした大地をソウルスモルクへ(6日目)



▲山小屋泊のトレッキング

アイスランド随一の人気を誇る ロングトレイルをトレッキング

「ロイガベル・トレッキング」はアイスランド南部の内陸部に位置するランドマンナロイガルからソウルスモルクを結ぶ全長56kmのアイスランド随一の人気を誇るトレッキングコースです。かつてナショナル・ジオグラフィック社の選ぶ世界のベスト・トレッキング20のひとつにも選ばれました。野趣あふれる露天温泉がある地熱地帯からスタートし、色とりどりの丘を越え、真っ黒な火山砂地帯を通過して、雄大な氷河に囲まれた苔むした断崖が連なる自然保護区ソウルスモルクへと至る山小屋泊、4泊5日のトレッキングは、毎日、ダイナミックでとても変化に富んだ内容です。なかでも荒涼とした大地が南下するに従い、緑が増していく様は感動的です。北欧ならではの淡くやさしい光に包まれたアイスランドの夏を、とっておきのトレッキングで思う存分、満喫してください。



▲噴気孔の点在する地熱地帯を進む(3日目)



▲トレッキングのゴール、ソウルスモルク(6日目)



▲ソウルスモルク自然保護区へ向けて進む(6日目)



▲ソウルスモルク周辺ハイキング(7日目)

発着地 東京・大阪・名古屋 **各地からの日本国内線はお問い合わせください。**

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
7/15(月)～7/24(水)	¥766,000

出発日限定・特別企画

- 燃油サーチャージ(2019年1月20日現在:28,000円～35,000円が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。)
- ツアーリーダー:日本から日本まで全行程同行します。発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。 ●最少催行人数:10人 ●食事:朝8回、昼7回、夕7回
- 一人部屋利用追加料金:¥66,000(山小屋泊を除く)
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。 ●利用予定航空会社:フィンエアー、スカンジナビア航空、プリティッシュ・エアウェイズ、日本航空

※このコースで宿泊する山小屋の食事はすべて自炊となります。現地ガイドとツアーリーダーのリードのもと、調理や皿洗い、清掃など、ご参加者の皆さまにご協力していただきます。
 ※毎日、山小屋から山小屋へ4輪駆動車による荷物託送サービスを利用しますので、ザックに入れて背負う荷物はその日に使う最低限度で構いません。荷物託送サービスに託す荷物はダブルバッグなどのソフトシェルのものをご用意ください。お一人様15kgまでが上限です。
 ※山小屋には寝具の備えはないため、寝袋は個人でご用意ください。現地レンタル(約8,000円)の用意も可能です。
 ※トレッキング1日目のフラフティスケル小屋以外の山小屋にはシャワーの備えがあります。ただし、利用にあたっては有料(5分間の利用で1回約700円程度)になります。
 ※トレッキングの行動範囲は200mから1,100mとなりますが、北極圏に近い高緯度地域になりますので行動中は必ず、十分な防寒着、防寒用の手袋、帽子、雨具をご用意ください。
 ※橋のない小川を横切ることが1日に複数回以上あります。渡渉用の深流シューズなどトレッキングシューズとは別に濡れてもよい靴を1組をご用意ください。



▲荷物託送サービス



▲山小屋前でくつろぐトレッカー



▲ガイドが調理をリード



▲山小屋での食事風景



▲いくつかの渡渉を越えて



▲残雪が残る場合もある

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 発着 ケプラヴィーク着/発 レイキャヴィーク着	午前、東京・大阪・名古屋発→ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ、アイスランドのケプラヴィークへ。着後専用車でレイキャヴィークへ(1時間)。 機 【レイキャヴィーク泊】
2	レイキャヴィーク滞在 世界遺産 シンクヴェットリール 国立公園 ハイキング	終日、レイキャヴィーク滞在。地溝帯ギャウで世界的に知られる 世界遺産シンクヴェットリール国立公園 へ。 ★北米大陸プレートとユーラシア大陸プレートの裂け目を歩き、パイキングの議会跡を訪れます。 (徒歩約2時間)。 その後、“ 黄金の滝 ” グトルフォス滝と間欠泉ゲイシール を訪ねます。 朝 【レイキャヴィーク泊】
3	レイキャヴィーク発 ランドマナロイガル着/発 ランドマナロイガル トレッキング1日目 フラフティスケル小屋 着	朝、路線バスでアイスランド内陸を代表する地熱地帯ランドマナロイガル(580m)へ(約5時間)。露天温泉入浴の後、トレッキング開始。 ★地熱地帯を緩やかに登り、フラフティスケル小屋(1,000m)へ (徒歩約5時間)。 朝 【フラフティスケル小屋泊】
4	フラフティスケル小屋発 ランドマナロイガル トレッキング2日目 オフトバ小屋 着	★荒涼とした大地を小さなアップダウンを繰り返しながら進み、グラスハガクリスキ川に下り、オフトバ湖近くに建つオフトバ小屋(530m)へ (徒歩約5時間)。 朝 【オフトバ小屋泊】
5	オフトバ小屋 発 ランドマナロイガル トレッキング3日目 ボトナール小屋 着	★川をいくつ渡り、幻想的な真っ黒な火山砂地帯をボトナール小屋(450m)へ (徒歩約7時間)。 朝 【ボトナール小屋泊】
6	ボトナール小屋 ランドマナロイガル トレッキング4日目 ソウルスモルク 着	★社大なマスカルフィヨルトの峡谷沿いのトレイルを辿り、ソウルスモルク自然保護区(200m)へ (徒歩約7時間)。 朝 【ソウルスモルク泊】
7	ランドマナロイガル トレッキング5日目 ソウルスモルク 発 レイキャヴィーク着	★ソウルスモルク自然保護区周辺でハイキング (徒歩約4時間)。 午後、路線バスでレイキャヴィークに戻ります。 朝 【レイキャヴィーク泊】
8	レイキャヴィーク滞在 レイキャヴィーク 市内観光 ブルーラグーン	午前、 レイキャヴィークの市内観光 。 午後、ミネラルたっぷりのアイスランド式露天温泉 ブルーラグーン をお楽しみください。 その後、レイキャヴィークに戻ります。 朝 【レイキャヴィーク泊】
9	レイキャヴィーク発	朝、ケプラヴィーク空港へ(1時間)。 朝、ケプラヴィーク発→ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ、東京・大阪・名古屋へ。 朝 【レイキャヴィーク泊】
10	各地 着	午後、東京、大阪、名古屋着。 機

※ 航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。*



▲ブルーラグーン(8日目)



▲間欠泉ゲイシール(2日目)



▲グトルフォスの滝(2日目)



▲ランドマナロイガルの露天温泉(3日目)

改訂 質の高いサービスが人気の中東航空会社で行く ブラジルの自然満喫の旅

ブラジルの絶景 レンソイス白砂漠トレッキングとアマゾン・ジャングルロッジ滞在13日間

白い砂の海原に季節限定で現れる青い色のラグーン、絶景の場所として近年、注目を集めるレンソイス白砂漠で2泊3日のトレッキング。旅の前半は世界最大の流域面積を誇る大河アマゾンを訪れます。アマゾンのまっただ中にある環境に配慮した一軒宿のエコロッジに宿泊し、アマゾンの大自然を体感します。



▲純白の砂漠とエメラルドグリーンラグーンが美しいレンソイス白砂漠を歩く



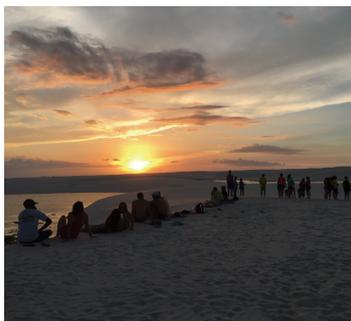
▲アマゾンのジャングルを歩く

レンソイス白砂漠を2泊3日でトレッキング

レンソイスとは、ポルトガル語で“シート”を意味します。その面積は東京都の2倍ほどあり、雨季の後、白い大地に真っ青なラグーンが現れる様はまさに絶景といえます。このコースではラグーンの展望スポットからスタートし、テントで1泊、砂漠の中の集落に1泊する、合計2泊3日をかけて大西洋へと抜けるトレッキングにご案内します。苦勞の末、海岸線にたどり着いた瞬間はじつに感動的です。朝日や夕日を浴びて赤く染まり、刻々と色合いが変化していく砂丘の美しさは言葉では言い表しようがありません。夜になれば、砂漠に広がる満天の星空を眺め、静まりかえった砂漠に身体を横たえて眠りにつく時間も、貴重な体験となることでしょう。白砂漠に忽然と現れるオアシスでは、ハンモックに揺られながら眠りにつきます。大自然に身を委ねて、たっぷり白砂漠の魅力をお楽しみください。



▲早朝、ロバとともに出発



▲夕景のレンソイス白砂漠

アマゾンの厳選の一軒宿に泊まる

このコースではブラジルのアマゾンの玄関口であるマナウスの街から南へ80km、大河アマゾンの支流のひとつジュマ川のほとり半島状に川に突き出す場所に建つ「ジュマ・アマゾン・ロッジ」にゆったり3連泊します。ソーラーシステムはもちろんロッジの建材などもふんだんにある地元産の木材を利用するなど環境に徹底的に配慮したロッジです。ロッジ滞在中はアマゾンに精通したガイドの案内でカヌーやボート、徒歩で鳥や動物、植物など様々な角度からアマゾンの生態系について解説するプログラムにご案内します。



▲半島状に建つロッジ



▲高台式のロッジのコテージ



▲お部屋の一例



▲アマゾンの植生についてガイドが説明



▲白い砂漠トレッキング、点在する青いラグーンが美しい

発着地 東京・大阪 **各地からの日本国内線はお問い合わせください。**

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
8/28(水)～9/9(月)	¥762,000

出発日限定・特別企画

- 燃油サーチャージ（2019年1月20日現在:目安約29,000円）が別途必要となっております。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ブラジル（申請料14,720円）=実費10,400円+申請料4,320円（2019年1月現在、手数料、消費税込み）の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー（添乗員）:東京または大阪から東京または大阪まで同行してご案内します。
- 最少催行人数:12人 ●食事:朝9回、昼8回、夕9回
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。P.3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋利用追加料金:¥100,000(テント泊、ロッジ泊は除く)
- 利用予定航空会社:エミレーツ航空、カタール航空

※トレッキング中は現地ガイドが同行します。食料・テントなどの荷物は各宿泊地までロバまたは馬またはバギーが運びます。

- ※レンソイス白砂漠は、通常7月～9月に水が張りますが、その年の降水量等の関係により、水が干上がっている場合があります。
- ※レンソイス白砂漠トレッキングは、天候や湖の水量などの自然状況によって一部変更される場合があります。また、国立公園内は火を使用することが禁じられています。そのため、トレッキング1日目の夕食と2日目の朝食はサンドイッチやフルーツ、クッキー、シリアルなど温めなくても食べられる簡単な食事となります。
- ※レンソイス白砂漠のトレッキングでは、日中の気温が35度を超えることもございますので熱中症に留意し、十分な水分補給を心がけてください。トレッキング中は途中で水分補給ができないため、各自3リットル以上の水を背負って歩くことになります。また、細かい砂地のため歩行中に足が沈み、実際の距離や歩行時間以上に体力の消耗を感じる場合がございます。目安として30度から35度の夏場に砂浜を2～3時間歩き続ける程度の体力が必要です。



▲小さな起伏を越えて進む、越える度に視界が開ける



▲テント泊となるトレッキングの1日目(7日目)



▲砂漠の中の民家に泊まる(8日目)

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 発	夜、東京発・深夜、大阪発→中東經由都市へ。 機【機中泊】
2	中東經由都市 着/発 サンパウロ 着	未明、中東經由都市着。 朝、→乗り継いで、ブラジルのサンパウロへ。着後、 専用車でホテルへ。 機機機【サンパウロ泊 日】
3	サンパウロ 発 マナウス 着/発 アマゾン・ ジャングルロッジ着	朝、サンパウロ発、国内線乗り継いでアマゾンの玄関口マナウスへ。午後、車(混載)とボート乗り継いでアマゾンのまっただ中にあるジャングル・ロッジへ(約3時間)。途中、 2河川合流地点 を経由します。夕刻、ジャングル・ロッジ着。3泊4日のアマゾン・ジャングルロッジ滞在をお楽しみください。 朝昼夕【ジャングル・ロッジ泊 日】
4	アマゾン・ ジャングルロッジ滞在	終日、アマゾン・ジャングルロッジ滞在。3泊4日のアマゾン・ジャングルロッジ滞在をお楽しみください。 朝昼夕【ジャングル・ロッジ泊 日】
5	アマゾン・ ジャングルロッジ滞在	終日、アマゾン・ジャングルロッジ滞在。3泊4日のアマゾン・ジャングルロッジ滞在をお楽しみください。 朝昼夕【ジャングル・ロッジ泊 日】
6	アマゾン・ ジャングルロッジ発 マナウス 着/発 サン・ルイス 着	車(混載)とボート乗り継ぎ、マナウスへ。午後、マナウス発。国内線乗り継いで 世界遺産の街サン・ルイス へ。深夜、サン・ルイス着。 朝昼夜【サン・ルイス泊 日】
7	サン・ルイス 発 パヘリーニャス 着/発 レンソイス遊覧飛行 レンソイス白砂漠・ トレッキング/1日目 マラニャンセス 着	朝、専用車でレンソイス白砂漠の玄関口パヘリーニャスへ(4時間)。昼、 →レンソイス・マラニャンセス国立公園上空を遊覧飛行 。午後、 2泊3日のレンソイス白砂漠のトレッキングスタート 。 ★真っ白な砂丘に煌めくエメラルドグリーン の湖が織りなす絶景をお楽しみください(約3時間/約4km)。 ☆宿泊は、砂丘のほとりです。天候が許せば、星空や夕日・朝日に照らされる砂丘をお楽しみいただけます。 朝昼夕【マラニャンセス泊 日】
8	マラニャンセス 発 レンソイス白砂漠・ トレッキング/2日目 バイシャ・グランデ 着	早朝、 ★レンソイス白砂漠をバイシャ・グランデまでトレッキング (約5時間/約5km)。 ☆宿泊は、レンソイス白砂漠に忽然と姿を現わすバイシャ・グランデ村の民宿に滞在し、ハンモック泊となります。 朝昼夕【バイシャ・グランデ泊 日】
9	バイシャ・グランデ発 レンソイス白砂漠・ トレッキング/3日目 アティン 着	早朝、 ★レンソイス白砂漠をトレッキング (約5時間/約6km)。大西洋に抜けると3日間のトレッキング終了です。その後、 →小型車で移動し小さな漁村アティン へ。午後、ビーチでゆっくりお過ごしください。 朝昼夕【アティン泊 日】
10	アティン 発 プレギシャス川クルーズ パヘリーニャス 着/発 サン・ルイス 着	朝、ボートで プレギシャス川をクルーズ しながら、パヘリーニャスへ。午後、専用車でサン・ルイスに戻ります(4時間)。 朝昼夕【サン・ルイス泊 日】
11	世界遺産サンルイス観光 サン・ルイス 発 サンパウロ 着	午前、 世界遺産サン・ルイス の町の観光。 タイルを敷き詰めた邸宅などが残る美しい町並み をお楽しみ下さい。午後、 →国内線 でサンパウロへ。朝(機)夕【機中泊】
12	サンパウロ 発 中東經由都市 着	深夜、 →中東經由都市 へ。 夜、中東經由都市着。 機機機【機中泊】
13	中東經由都市 発 各地 着	未明、 →中東經由都市 発、東京・大阪へ。 夕刻、東京・大阪着。 機

※ 航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。*



▲世界遺産サン・ルイスの街並み(11日目)



▲遊覧飛行からのレンソイス(7日目)

改訂 コンパクトな日程で孤高の巨峰ナンガパルバットをダイナミックに望む



ナンガパルバット・メルヘンの 草原トレッキングと桃源郷フンザ 9日間

コンパクトな日程で、名峰ナンガパルバットを望むハイキングを楽しみます。カラコルムとは黒い砂礫という意味をなし、パキスタンの北部の山岳地域は、ネパールヒマラヤのような緑豊かなエリアは少なく、岩と雪山の世界が広がります。本コースで訪れるメルヘンの草原は、緑豊かな牧歌的な草原が広がる別天地です。



▲メルヘンの草原からナンガパルバット(8,126m)



▲登山口へはジープで入山する

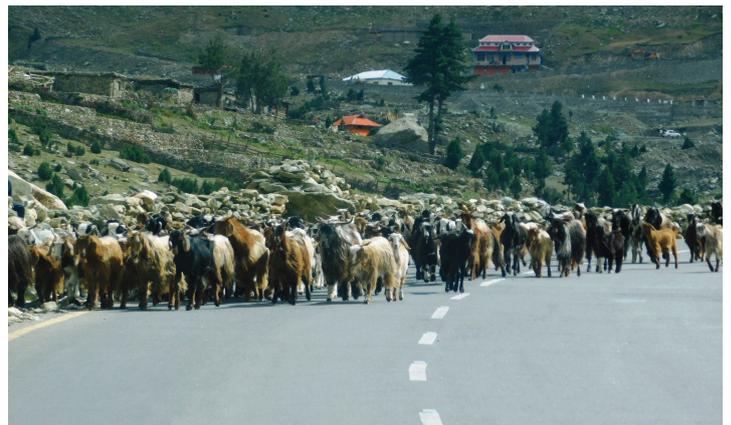
悲劇と栄光の舞台となった山 ナンガパルバット

「最も不幸でしかも最も栄光に輝く峰は世界でこの山をおいてはない。」イタリアの登山家・作家フォスコ・マイリーにこう言わしめた山ナンガパルバット(8,126m)。数々の悲劇と栄光に彩られたそのドラマチックな登山史はあまりにも有名です。

ナンガパルバットとはサンスクリット語で“裸の山”の意味で西側山麓の住民からはディアミール(“山の王”)と呼ばれています。この孤高の巨峰はヒマラヤ山脈の西端に君臨する8,000m峰であり、世界第9位の高峰です。インダス大峡谷をはさんでカラコルム山脈と向き合う独立峰で、3本の長大な頂稜とそこからなぎ落ちる3つの巨大な氷壁と氷河で構成され、堂々たるボリュームの山容を誇っています。この巨峰の北面のラキオット谷には美しい山上の別天地“メルヘンの草原”があります。名付け親は1930年代にこの地を訪れその素晴らしさに感動した初期のドイツ登山隊です。(ドイツ語でメルヘンヴィーゼ、英語ではフェアリー・メドウズ)小川が流れ放牧の羊が草をはむ美しく牧歌的な草原からは、真正面に、4,500mの高度差でそびえるナンガパルバットの白銀の雄姿が仰げます。メルヘンの草原滞在中には、メルヘンの草原からバヤルキャンプ周辺を往復、圧倒的な迫力で迫るナンガパルバットの雄姿を眺めます。トレッキング終了後には、桃源郷フンザも訪れます。フンザからは、レディースフィンガーやフンザピーク、ウルタル、ディラン、ラカボシなどのカラコルムの名峰を望むことができます。



▲バヤルキャンプへ往復ハイキング



▲カラコルムハイウェイをヤギの群れが歩く



▲堂々たるボリュームの山容を誇るナンガパルバット(8,126m)

発着地 東京・大阪・名古屋(福岡発着はお問合せ下さい)

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
8/19(月)～8/27(火)	¥342,000	10/14(月)～10/22(火)	¥332,000
9/9(月)～9/17(火)	¥332,000		

- 燃油サーチャージ(2019年1月20日現在:目安約17,000円)が別途必要ですが、今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=パキスタン/ビザ申請料:約4,420円=実費100円+申請料4,320円(2019年1月20日現在/手数料・消費税込み)の取得が別途必要になります。
- ツアーリーダー(添乗員):イスラマバードからイスラマバードまで同行します。出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最小催行人数:10人 ●食事:朝7回、昼7回、夕6回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。P3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋追加代金:32,000円(チラス、ベシヤムのロッジを除く)
- 利用予定航空会社:タイ国際航空



▲フンザ付近からのラカボン(7,788m)



▲草原に囲まれたメルヘンの草原

日程	発着地	スケジュール/食事(宿泊地)
1	各地 イスラマバード	発着 午前、東京・大阪・名古屋発✦バンコク経由✦夜、イスラマバード着。 機 【イスラマバード泊】
2	イスラマバード チラス	発着 朝、でカラコルムハイウェイを北上し、チラスへ。 朝 昼 夕 【チラス泊】
3	チラス タト村周辺	発着/発 チラスからラキオット橋へ。ジープに乗り換え、急な山腹の悪路をジープで上がり、タト村(2,600m)周辺へ。 トレッキング開始。森と放牧地の山道を登り、ナンガパルバットの大氷壁とラキオット氷河を正面に望む広々とした美しい“メルヘンの草原”(3,300m)へ。(徒歩約3時間) 朝 昼 夕 【メルヘンの草原泊】または【T】
4	メルヘンの草原 ナンガパルバット	滞在 メルヘンの草原滞在中。終日、日帰りハイキングを楽しみます。さらにナンガパルバットに向かって奥へ進み、バヤルキャンプ周辺(標高約3,500m)まで往復します。(徒歩約4時間) 朝 昼 夕 【メルヘンの草原泊】または【T】
5	メルヘンの草原 フンザ	発着 午前、往路をタト村周辺まで下り、トレッキング終了。 (徒歩約1時間)ジープに乗り換え、ラキオット橋へ。カラコルムハイウェイを南下し、桃源郷フンザへ。着後、フンザ王国時代の象徴バルチット城の見学やフンザの村の散策などを楽しみます。 朝 昼 夕 【フンザ泊】
6	フンザ ベシヤム	発着 専用車で往路をナンガパルバットのすそを通り、ベシヤムへ。途中、シャタールで仏教の岩絵を見学します。 朝 昼 夕 【ベシヤム泊】
7	ベシヤム イスラマバード	発着 イスラマバードへ。途中、 世界遺産にも指定されているガンダーラ遺跡群であるタキシラを見学します。 朝 昼 夕 【イスラマバード泊】
8	イスラマバード	発着 終日、イスラマバード市内観光を楽しみます。夜、イスラマバード発✦バンコクへ。 朝 昼 夕 【機中泊】
9	バンコク 各地	着/発着 ✦バンコク経由✦ 午後、東京、大阪、名古屋着。 機

※ 航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。*



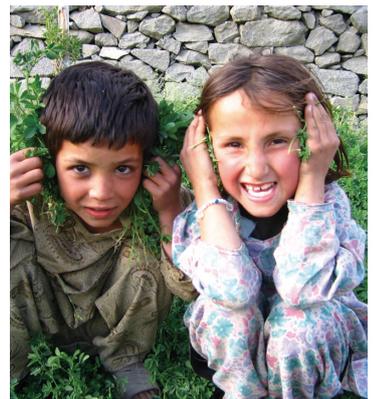
▲フンザからのウルタル峰



▲ガンダーラ遺跡群タキシラを見学



▲フンザから見えるレディースフィンガー



▲フンザの素朴な子どもたち

改訂 桃源郷フンザと高峰密集地グレート・カラコルムを仰望する



桃源郷フンザと グレート・カラコルム展望トレッキング 10日間

“中央アジアの屋根”カラコルム山脈は、世界第2の高峰K2をはじめ8,000m峰が4座、7,000m峰なら実に60座以上もある白い巨峰群が連なる世界です。桃源郷と称されるフンザは、長寿の村としても知られており、雪山に囲まれながら華やかな風景が広がります。パス-氷河周辺では名峰を望みながらのハイキングを楽しめます。



▲グルキンを出発し、ウルタルII峰(7,388m)を望みながら歩く(5日目)



▲カラコルムハイウェイ付近にあるシルクロードの跡

偉大なグレート・カラコルム

カラコルム山脈の中でもとくに高峰が密集しているグレート・カラコルム。東のネパールヒマラヤと並ぶ世界的スケールの豪快な大山脈であり、8,000m峰の数でこそ一歩譲るものの、高峰の密集度ではむしろネパールヒマラヤを凌いでいます。さらに、カラコルムは極地帯を除けばもっとも長大な氷河が発達している地域の一つです。また、カラコルム山脈は中央アジアの5つの国が出会う要に位置しています。延々550kmの長さで連なるこの大山脈を越えて、南のパンジャブ平原と北の中央アジア高原とを結ぶルートは、古くからシルクロードのひとつとして、また、仏教伝来の道として、あるいは紀元前4世紀のアレキサンダー大王の遠征など征服者の略として、南北双方からの数々の異なった民族や文明の足跡が刻まれた舞台であり、興味は尽きません。



▲ホーバル村からの姿をかえたウルタルII峰(7,388m)

カラコルムの名峰を仰ぎみる 5つのハイキングコースを歩く

今回、桃源郷フンザや氷河や高峰に囲まれたパス-村から日帰りで5つの展望地ハイキングを楽しめます。フンザの中心地カリマバード上部のドゥイカルの丘から、ラカポシやディラン、スバンティックなどを望むコース、ラカポシの北面を仰ぎ見るコース、グルキン氷河のアブレーションバレー(氷河側谷)をシスパーレやウルタルを望むコース、真白い氷塔が乱立するパス-氷河を望むコース、フンザの対岸の奥地に位置するホーバル村から、ブアルタル氷河やウルタルなどを望むコースなど、合計すると7,000m峰を11座見ることができます。また、イスラマバードからフンザ、ギルギットへの移動途中では、ヒマラヤの最西端に位置する8,000m峰ナンガ・パルバット(8,126m)も望むことができます。どのハイキングも2時間前後のハイキングになりますので、のんびりと白銀の山々を展望しながら、お楽しみください。



▲グルミット付近からのトポップダン(6,106m)



▲カラコルム・ハイウェイからのルプガルサル(左)(7,199m)とトリヴォール(右)(7,720m)

発着地 東京・大阪・名古屋発着 (福岡発着はお問合せください)

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
9/ 6 (金)～9/15(日)	¥376,000	10/18(金)～10/27(日)	¥366,000
10/ 4 (金)～10/13(日)	¥366,000		

- 燃油サーチャージ (2019年1月20日現在:目安約17,000円)となっておりますが、今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=パキスタン/ビザ申請料:約4,420円=実費100円+申請料4,320円 (2018年10月20日現在/手数料・消費税込み)の取得が別途必要になります。
- ツアーリーダー (添乗員):イスラマバードからイスラマバードまで同行します。出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最小催行人数:10人 ●食事:朝8回、昼8回、夕7回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。P3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋追加代金:¥44,000(フンザ泊ロッジ含む。その他ロッジ含まない。)
- 利用予定航空会社:タイ国際航空



▲バス氷河を眼下に歩く(5日目)



▲グルキン付近からのトポップダン(6,106m)とポリット・レイク

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 イスラマバード	発着 午前、東京、名古屋発▶バンコク経由▶夜、イスラマバード着。 機 【イスラマバード泊】
2	イスラマバード ベシヤム	発着 朝、でベシヤムへ。専用車でカラコルムハイウェイを北上します。途中、 世界遺産にも指定されているガンダーラの遺跡群であるタキシラ を見学します(所要約8時間)。 朝 【ベシヤム泊】
3	ベシヤム フンザ	発着 カラコルムハイウェイをさらに北上し、桃源郷といわれるフンザ(約2,400m)へ。(所要約8時間)途中、巨峰ナンガ・パルバット(8,126m)の雄姿を望むことができます。 朝 【フンザ泊】
4	フンザ 滞在	午前、フンザ上部にあるドウイカルの丘(2,850m)へ。 丘からハイキング開始。ウルタル谷の入り口付近まで往復します。途中、ラカボシ、ディラン、スパンティークをはじめ、フンザピーク、レディースフィンガー、ウルタルI峰、ウルタルII峰などを望みながら歩きます (徒歩約1.5時間)。その後、専用車でフンザから、グルメット村へ。 秀峰ラカボシの高度差、5,700mを仰ぎ見るハイキング へ(徒歩約2.5時間)。ラカボシの北面が圧倒的迫力で望めます。 午後、フンザに戻り、 フンザ王国時代の象徴バルット城の見学やフンザの村の散策 などを楽しみます。 朝 【フンザ泊】
5	フンザ パス	発着 カラコルムハイウェイをさらに奥へ進みグルキン村(2,500m)へ。 グルキン氷河のアブレーションバレー(氷河側谷)を進み、シスパーレ、ウルタル1峰、ウルタルII峰、トポップダンなどを望みながら、グルキン氷河を望む展望地までハイキング (徒歩約2時間)。その後、パス氷河の入り口付近(2,600m)まで移動し、 パス氷河を眼下に望む展望地をハイキング します(徒歩約1.5時間)。パス(約2,600m)へ戻ります。 朝 【パス泊】
6	パス ギルギット	発着 午前、パス村からナガールのホーパル村へ。 ホーパル村(2,790m)からウルタルII峰やアルタル氷河、カペルピークなどを望むビューポイント へ(徒歩約2.5時間)。その後、専用車でギルギット(1,500m)へ。 朝 【ギルギット泊】
7	ギルギット ベシヤム	発着 朝、専用車で往路をナンガパルバットのすそを通り、ベシヤムへ。途中、シャタルで仏教の岩絵を見学します(所要約8時間)。 朝 【ベシヤム泊】
8	ベシヤム イスラマバード	発着 専用車でイスラマバードへ(所要約8時間)。 朝 【イスラマバード泊】
9	イスラマバード	発着 終日、イスラマバード市内観光を楽しみます。 夜、イスラマバード発▶バンコクへ。 朝 【機中泊】
10	各地	着 ▶バンコク経由▶午後、東京・名古屋着。 機

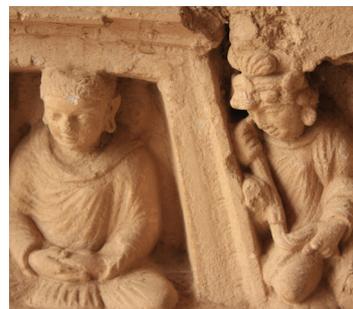
※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



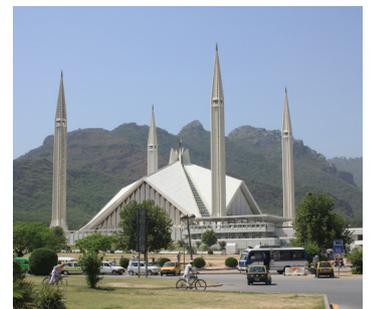
▲フンザの素朴な料理



▲仏教の岩絵を見学



▲ガンダーラのタキシラ遺跡群



▲イスラマバードのファイサルモスク

改訂 眼下に広がる広大な氷河と雪山の迫力を堪能する

カラコルムの名峰 ディラン・ラカポシ ベースキャンプ・トレッキング11日間

わずか片道1泊2日の行程で、カラコルムの名峰ディラン(7,273m)とラカポシ(7,788m)の名峰群と広大な氷河を望みます。ディラン、ラカポシのベースキャンプは、のどかな牧草地で、快適なテント生活を楽しむことができます。ベースキャンプで連泊しながら、周辺のハイキングを楽しみます。



▲ベースキャンプ付近からのディランとミナピン氷河(5日目)



▲ベースキャンプは氷河側谷に位置する

北杜夫著 「白きたおやかな峰」の舞台へ

カラコルムをヒマラヤと比べた場合、特徴の一つとして、長大な氷河が発達していることと、氷河末端の標高が低いことがあげられます。その主な理由は、カラコルムがヒマラヤよりも北に位置しているからです。例えば、氷河の末端の標高は、ネパールヒマラヤでは約4,000m～5,000mですが、カラコルムでは、それより1,500mも低い約2,500m～3,500mです。ちなみにカラコルムで一番低いバルブ氷河の末端は標高わずか2,270mです。つまりカラコルムでは、高山病に悩ませられることなしに、氷河の大パノラマや氷河歩きを楽しむことができます。また、山脈を縦断するカラコルム・ハイウェイの存在が、氷河へのアプローチをさらに短縮しています。ディランとラカポシのベースキャンプ地タカファリ(3,450m)は広いカラコルムの中でも、短期間のうちに雄大でダイナミックな氷河の景観に接する場所といえます。タカファリは、北杜夫著「白きたおやかな峰」の舞台であるディランのベースキャンプ地ですが、同時に、いくつかのラカポシ登山隊もベースキャンプを置いたところ。ベースキャンプ地や背後の丘からは、ディラン、ラカポシはもちろん、パツラ山群の眺めも楽しめます。

眼下に広がるミナピン氷河は、白く輝く氷塔が乱立する氷河であり、まさにカラコルムの大氷河の一部を垣間見ることができ、カラコルム山脈の凄さを実体験できる場所でもあります。



▲赤く染まる「白きたおやかな峰」ディラン(7,273m)



▲ファンザからのレディフィンガー(6,000m)とファンザピーク(6,270m)(右)



▲フンザ手前のカラコルムハイウェイからのラカボシ(7,788m)

発着地 東京・大阪・名古屋(福岡発着はお問合せ下さい)

歩行時間 **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
6/17(月)～6/27(木)	¥398,000	9/9(月)～9/19(木)	¥398,000

- 燃油サーチャージ(2019年1月20日現在:目安約17,000円)が別途必要ですが、今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=パキスタン/ビザ申請料:約4,420円=実費100円+申請料4,320円(2019年1月20日現在/手数料・消費税込み)の取得が別途必要になります。
- ツアーリーダー(添乗員):イスラマバードからイスラマバードまで同行します。出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最小催行人数:10人 ●食事:朝9回、昼9回、夕8回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。P3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋追加代金:42,000円(テント泊含む、ベシヤムロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社:タイ国際航空



▲ベースキャンプ付近からのラカボシ(5日目)



▲ベースキャンプ付近から望むサンゲ・マルマール(6,949m)

日程	発着地	スケジュール/食事(宿泊地)
1	各地 イスラマバード	発着 午前、東京・大阪・名古屋発→バンコク経由→夜、イスラマバード着。 (機)【イスラマバード泊】
2	イスラマバード ベシヤム	発着 朝、でカラコルムハイウェイを北上し、ベシヤムへ。途中、 世界遺産にも指定されているガンダーラ遺跡群であるタキシラを見学します。 (朝昼夕)【ベシヤム泊】
3	ベシヤム フンザ	発着 ベシヤムからカラコルムハイウェイをさらに北上し、桃源郷といわれるフンザへ。(所要約8時間)途中、巨峰ナンガルパルバット(8,126m)の雄姿を望むことができます。 (朝昼夕)【フンザ泊】
4	フンザ ミナピン ハパクンド	発着/発着 専用車で、秀峰ラカボシの高度差5,700m威容を眺めながら、ラカボシ直下の村ミナピン(2,029m)へ。 トレッキング1日目 トレッキング開始。深谷沿いの急な坂道を登り、夏村を経て、夏の放牧の草原ハパクンド(2,800m)へ。(徒歩約4時間) (朝昼夕)【ハパクンド泊】
5	ハパクンド ディラン、ラカボシBC	発着 トレッキング2日目 ディラン、ラカボシBC着 頭上にラカボシ、背後にはパツラ山群、左手に氷河を眺めながら、夏には花咲く斜面を登りきると、雄大なミナピン氷河の全貌とディランのパノラマが開けます。トラバース道を通ぎ、氷河わきの草原のタカファリといわれるディランとラカボシのベースキャンプ(3,450m)へ。(徒歩約5時間) (朝昼夕)【ディラン、ラカボシベースキャンプ泊】
6	ディラン、ラカボシBC	滞在 トレッキング3日目 終日、ベースキャンプ滞在。背後の尾根の末端(3,650m)を登り、大パノラマを楽しんだり、周辺ハイキングを楽しみます。 (朝昼夕)【ディラン、ラカボシベースキャンプ泊】
7	ディラン、ラカボシBC ミナピン フンザ	発着/発着 トレッキング4日目 午前、往路を、ミナピン村へ下ります。(徒歩約4時間)その後専用車で桃源郷といわれるフンザへ。 (朝昼夕)【フンザ泊】
8	フンザ ベシヤム	発着 専用車で往路をナンガルパルバットのすそを通り、ベシヤムへ。(所要約9時間) (朝昼夕)【ベシヤム泊】
9	ベシヤム イスラマバード	発着 専用車でイスラマバードへ。(所要約8時間) (朝昼夕)【イスラマバード泊】
10	イスラマバード	発着 終日、イスラマバード市内観光を楽しみます。夜、イスラマバード発→バンコクへ。 (朝昼)【機中泊】
11	バンコク 各地	着/発着 →バンコク経由→午後、東京、大阪、名古屋着。 (機)

※航空会社の都合や天候、道路事情により日程が変更される場合があります。
※パキスタン北部山岳地帯の道路(カラコルムハイウェイを含む)はすべて険しい山岳道路のため降雨時等には土砂崩れによってしばしば部分的に不通となることがあります。その場合には、やむを得ず日程・目的地の変更や帰国日の遅延を生じることもありますので、予めご諒承下さい。



▲素朴な子どもたちとの交流も楽しい



▲山岳未舗装道路を登山口へ



▲チラス付近からのナンガルパルバット(8,126m)



▲穏やかな山容のフンザからのラカボシ

8,000m峰4座が聳える高峰密集の地、バルトロ氷河は山岳トレッキングの極致



K2・バルトロ氷河トレッキング24日間

カラコルム山脈バルトロ氷河。王者K2、輝く連峰ガッシャーブルムI～VI峰、広い頂ブロードピークなど、名だたる高峰峻峰がこの氷河を取り囲み、ハイライトは大自然の壮麗な“円形劇場”コンコルディア。ここには世界の8,000m峰14座のうち4座がひしめいており、世界で最も豪勢な山岳景観を誇っています。



▲コンコルディアからの世界第2の高峰K2 (8,611m)



▲2週間以上バルトロ氷河上を歩く

トレッキングの極致

カラコルムはもとより地球上の高峰山岳地帯の魅力を集約したバルトロ氷河。王者K2、輝く壁ガッシャブルムI～IV峰、広い頂ブロードピーク、麗峰マツシャブルム、花嫁の峰チョゴリザ、黄金の王座バルトロカンリ、怪峰ムスターグタワー、秀峰パイユ、鋭峰ミーターピーク、岩の城塞トランゴタワー……名だたる高峰群がこの氷河を取り囲んでキラ星のごとく立ち並んでいます。中でもハイライトは大自然の壮麗な“円形劇場”コンコルディア。ここは世界の高峰がひしめいており、最も豪勢な山岳景観を誇っています。山好きの方なら生涯に一度は訪れたい、地球上のトレッキングの極致というべきコースです。

健脚向きハードコース

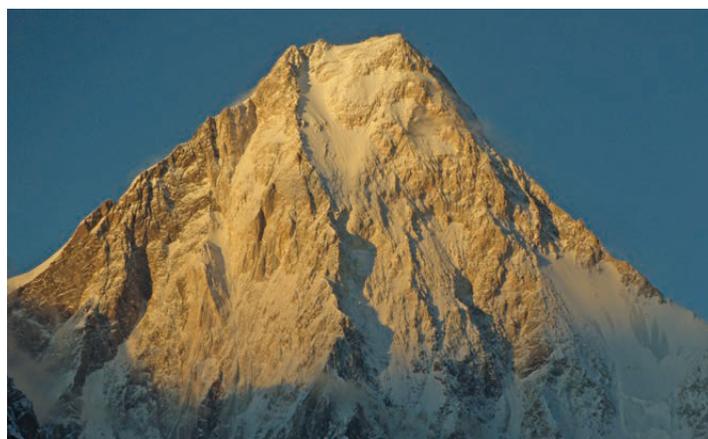
長期にわたる非常にスケールの大きな山旅です。高さの点では3,000mのアスコレから毎日徐々に高度を上げながら、ゆっくり8日間かけて4,600mのコンコルディアへ達しますので高山病の影響は強くないと考えられますが、十分注意してください。



▲前半は乾燥地帯を歩く



▲ガッシャーブルムIV峰を望みながら歩く



▲夕焼けのガッシャーブルムIV峰



▲ムスターグ・タワーを望みながらランチを楽しむ (12日目)



▲麗峰マッシュャールム (7,821m) を望む

発着地 東京・大阪・名古屋発着 (福岡発着はお問合せ下さい)

歩行時間 **宿泊高度** **健康診断** **宿泊施設** (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
6/21(金)～7/14(日)	¥662,000	9/13(金)～10/6(日)	¥662,000
8/30(金)～9/22(日)	¥662,000		

- 燃油サーチャージ (2019年1月20日現在: 目安約17,000円) が別途必要ですが、今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=パキスタン/ビザ申請料金: 約4,420円=実費100円+申請料金4,320円 (2019年1月20日現在/手数料・消費税込み) の取得が別途必要になります。
- ツアーリーダー (添乗員): イスラマバードからイスラマバードまで同行します。出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最小催行人数: 10人 ●食事: 朝22回、昼22回、夕21回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。P3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋追加料金: **¥78,000** (テント泊含む)
- 利用予定航空会社: タイ国際航空

※行動範囲: 3,000m～4,600m、最高宿泊地 約4,600m、高山病の影響あり

このコースのお申込みは、 ご出発の3か月前までにお願いたします。

バルトロトレッキングのコースは、トレッキング許可書取得のための各種書類を出発の2か月前までに現地パキスタン関係各機関に提出しなければなりませんので、そのため、ご出発の3か月前までのお申込みをお願いしております。

パーソナルポーターの手配について

事前にお申し込み頂き、費用はあらかじめお支払い頂きます。費用は42,000円です。一人のポーターが担ぐ荷物は12kg以内で、トレッキングの全行程同行します。なお、途中のみの手配は受けられません。

☆アルパインの「K2・バルトロ」はここが違います☆

●高所経験豊富な日本人ツアーリーダーが同行

高所トレッキングの経験豊かな日本人ツアーリーダーが、ガモフバッグ、パルスオキシメーター、酸素ボンベなど高山病対応機器を携行して同行します。

●ナジール・サビール・エキスペディションズ社が現地手配

バルトロに聳える8,000m峰4座 (K2、ブロードピーク、ガッシャールムI、II) とエベレスト登頂でも知られる、パキスタン山岳会元会長で国際登山家ナジール・サビール氏のチームが皆さまの山旅をサポートします。長年の実績と緊急対応での信頼性は同国屈指です。



▲コックが作る美味しい食事



▲登山口アスコレへ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 発着 イスラマバード 着	午前、東京、大阪、名古屋発→バンコク経由→夜、イスラマバード着。 (機) 【イスラマバード泊 (H)】
2	イスラマバード 発着 スカルド 着	朝、国内線山岳飛行便で、ナンガパルバットなどの雪山を眺めながらスカルドへ。飛べない場合は陸路をベトナム又はチラスへ。 (朝(機)夕) 【スカルド泊 (H)】
3	スカルド 滞在	スカルド滞在。バルトロ氷河トレッキングの公的手続きなど。または陸路で、スカルドへ。 (朝(機)夕) 【スカルド泊 (H)】
4	スカルド 発着 アスコレ 着	ジープでジガル川に沿って砂漠地帯のダッソーを経てアスコレへ。 (朝(機)夕) 【アスコレ泊 (T)】
5 19	トレッキング 1～15日目	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ピアフ氷河のガラ場を横切りジョラへ (徒歩約9時間)。 ⑥スカンモチョークへ (徒歩約7時間)。 ⑦素晴らしい景観のパイコへ (徒歩約5時間)。 ⑧パイコ滞在 ⑨バルトロ氷河へ上がりコブツェへ (徒歩約5時間)。 ⑩緑のある最後の地ウルドカスへ (徒歩約8時間)。 ⑪雄大なパノラマの中をゴレへ (徒歩約4時間)。 ⑫クライマックス! コンコルディアへ (徒歩約5時間)。 ⑬行程予備日又はコンコルディア滞在 (徒歩約7時間)。 ⑭～⑯往路をアスコレへ下山。 (朝15(機)15(夕)15) 【テント泊 (T)】
20	アスコレ 発着 スカルド 着	往路をジープでスカルドへ。 (朝(機)夕) 【スカルド泊 (H)】
21	スカルド 発着 イスラマバード 着	午前、スカルド発→イスラマバードへ。飛べない場合は陸路をベトナム又はチラスへ。 (朝(機)夕) 【イスラマバード泊 (H)】
22	イスラマバード 滞在	イスラマバード滞在。又は陸路をイスラマバードへ。 (朝(機)夕) 【イスラマバード泊 (H)】
23	イスラマバード 発着	夜、イスラマバード発→バンコクへ。 (朝(機)日) 【機中泊】
24	各地 着	朝、バンコク着、乗り継いで→東京、大阪、名古屋へ。夕刻、東京、大阪、名古屋着。 (機)

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

※イスラマバード/スカルド間の山岳飛行機は気象条件によってはしばしば欠航することがあります。飛行機で飛べない場合はインダス河沿いの車道(一部はカラコルムハイウェイ)を車で行きます。イスラマバード/スカルド間を車で行く場合には、途中ベトナムまたはチラスのロッジで1泊2日間の行程です。

※予備日につきましては、帰路のジープ道の状況や参加者の体調、天候不良のための予備日を最優先とさせていただきますが、ツアーリーダーの総合的判断により、コンコルディアにさらに1泊する場合があります。



▲コンコルディアからのK2 (右) とミーターピーク (左) を望む



▲バルトロ氷河上を大きな水塔の間を歩く

バルトロ氷河の最奥の地、迫りくる雪山と白い氷塔に囲まれた究極の場所へ



K2・バルトロ氷河とガッシャーブルム ベースキャンプ・トレッキング29日間

“円形劇場”コンコルディアからさらにバルトロ氷河の源頭部分まで足を延ばし、それまで全容を望むことができなかったガッシャブルムI峰、II峰を望むベースキャンプまでトレッキングします。コンコルディアよりも、約500mほど高い場所に宿泊するため、高山病に対する十分な対策が必要です。



▲ベースキャンプからのガッシャーブルムI峰



▲ベースキャンプ付近からのシアカンリ(15日目)

隠れた8,000m巨峰 ガッシャーブルムI峰

バルトロ氷河の最奥の地に聳えたち、コンコルディアからもその姿を見ることができないため、“ヒドン・ピーク”隠れたピークといわれるガッシャブルムI峰。現地バルティ語で輝く壁の意味をなし、南ガッシャブルム氷河を囲んでI峰(8,068m)、II峰(8,035m)、III峰(7,952m)、IV峰(7,925m)、V峰(7,133m)VI峰(7,004m)までずらりと連なる一大山塊の最高峰です。ベースキャンプからは、ガッシャブルムI峰、ガッシャブルムII峰、真近に迫るチョゴリザ(7,665m)、鋭峰に姿を変えたムスターグタワー(7,284m)など、多くの巨峰が圧倒的迫力で迫ります。



▲アブルツィ氷河上にあるガッシャーブルムベースキャンプ

超健脚向きハードコース

長期にわたる超健脚向きのコースです。通常のバルトロ氷河トレッキングでは、4,600mのコンコルディアが最高宿泊地点ですが、ガッシャブルムベースキャンプは、さらに高い標高5,150mに宿泊しますので高山病の影響がでる可能性があります。

さらに、コンコルディアからガッシャブルムベースキャンプへのルートは、氷河の源頭部分のため、クレバスなども多く、氷河の状態によっては、大きく迂回するルートをとることがあり、記載したコース時間より大幅に歩行する場合があります。さらに長いテント生活もあります。十分な体力をもった健脚向きのハードコースです。



▲バルトロ氷河上部からの怪峰ムスターグタワー



▲ベースキャンプから望むガッシャーブルムⅡ峰(15日目)

発着地 東京・大阪・名古屋発着(福岡発着はお問合せ下さい)

歩行時間 **宿泊高度** **健康診断** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
8/ 3(出)～8/31(出)	¥776,000

- 燃油サーチャージ(2019年1月20日現在:目安約17,000円)が別途必要ですが、今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=パキスタン/ビザ申請料:約4,420円=実費100円+申請料4,320円(2019年1月20日現在/手数料・消費税込み)の取得が別途必要になります。
- ツアーリーダー(添乗員):イスラマバードからイスラマバードまで同行します。発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最小催行人数:10人 ●食事:朝27回、昼27回、夕26回
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。P3掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋追加代金:88,000円(テント泊含む)
- 利用予定航空会社:タイ国際航空

※行動範囲:3,000m～5,150m、最高宿泊地 約5,150m、高山病の影響あり

このコースのお申込みは、 ご出発の3か月前までお願いいたします。

バルトロトレッキングのコースは、トレッキング許可書取得のための各種書類を出発の2か月前までに現地パキスタン関係各機関に提出しなければなりませんので、そのため、ご出発の3か月前までのお申込みをお願いしております。

パーソナルポーターの手配について

事前にお申し込み頂き、費用はあらかじめお支払い頂きます。費用は60,000円です。一人のポーターが担ぐ荷物は12kg以内で、トレッキングの全行程同行します。なお、途中のみの手配は受けられません。



▲バルトロ氷河上部からのチョゴリザ(15日目)

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 イスラマバード	発着 午前、東京・大阪・名古屋発→バンコク経由→夜、イスラマバード着。 (機)【イスラマバード泊 団】
2	イスラマバード スカルド	発着 →朝、国内線山岳飛行便で、ナンガバルバットなどの雪山を眺めながらスカルドへ。 ※イスラマバード/スカルド間の山岳飛行便は気象状況によって欠航することがあります。 飛行機で飛べない場合はインダス河沿いの車道を車でいきます。イスラマバード/スカルド間を車で行く場合は、途中、ベシヤムまたはチラスのロッジで1泊2日間の行程です。 (朝昼夕)【スカルド泊 団】
3	スカルド	滞在 スカルド滞在。または陸路でスカルドへ。 バルトロ氷河トレッキングの公的手続きを行います。 (朝昼夕)【スカルド泊 団】
4	スカルド アスコレ	発着 ジープでシガール川に沿って砂漠地帯のダッソーを経てアスコレ(約3,000m)へ。 (朝昼夕)【アスコレ 団】
5 12	アスコレ コンコルディア	発着 →トレッキング開始。P14～15掲載の「K2・バルトロ氷河トレッキング24日間」の日程5日目～12日目の行程と同じです。 (朝昼夕)【コンコルディア 団】
13	予備日	→トレッキング予備日 (朝昼夕)【テント泊 団】
14	コンコルディア シャグリン	発着 →バルトロ氷河上流をシャグリン(4,992m)へ進みます。シャグリンからは、バルトロカントリーが大迫力で眺望できます。また、怪峰と呼ばれる姿を変えたムスターグタワも遠望できます。(徒歩約7時間) (朝昼夕)【シャグリン泊 団】
15	シャグリン ガッシャーブルム ベースキャンプ	発着 →朝、シャグリンを出発し、アブルツツ氷河に入り、南ガッシャーブルム氷河を正面に望むガッシャーブルムベースキャンプ(5,150m)へ。ベースキャンプからは、ガッシャーブルムⅠ峰、Ⅱ峰、チョゴリザ、シアカンリなど、名峰、美峰の迫力ある姿を望みます。(徒歩約6時間) (朝昼夕)【ガッシャーブルムベースキャンプ泊 団】
16	予備日	→トレッキング予備日 (朝昼夕)【テント泊 団】
17	ガッシャーブルム ベースキャンプ コンコルディア	発着 →往路をコンコルディアまで戻ります。(徒歩約11時間) (朝昼夕)【コンコルディア泊 団】
18	予備日	予備日 (朝昼夕)【テント泊 団】
19 24	コンコルディア アスコレ	発着 →往路をアスコレへ向けて戻ります。 (朝6昼6夕6)【テント泊 団】
25	アスコレ スカルド	発着 →ジープでスカルドへ戻ります。 (朝昼夕)【スカルド泊 団】
26	スカルド イスラマバード	発着 午前、→国内線山岳飛行便でイスラマバードへ。 ※イスラマバード/スカルド間を車で行く場合は、途中ベシヤムまたはチラスのロッジで1泊2日間の行程です。 (朝昼夕)【イスラマバード泊 団】
27	イスラマバード	滞在 イスラマバード滞在。または専用車で陸路をイスラマバードへ。 (朝昼夕)【イスラマバード泊 団】
28	イスラマバード	発着 夜、イスラマバード発→バンコクへ。 (朝昼夕)
29	バンコク 各地	着/発着 朝、バンコク着。乗り継いで、→夕刻、東京、大阪、名古屋着。 (機)

※ 航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。
※ パキスタン北部山岳地帯の道路(カラコルムハイウェイを含む)はすべて険しい山岳道路のため降雨時等には土砂崩れによってしばしば部分的に不通となることがあります。その場合には、やむを得ず日程・目的地の変更や帰国日の遅延を生じることもありますので、予めご諒承下さい。
※ 予備日につきましては、帰路のジープ道の状況や参加者の体調、天候不良のための予備日を最優先とさせていただきますが、ツアーリーダーの総合的判断により、コンコルディア及びガッシャーブルムのベースキャンプにさらに1泊する場合があります。



▲美しいラグーンが白砂漠に点在するレンソイス(ブラジル)



▲ピニユマル北壁を正面に望む(フランス)



▲コンコルディアからガッシャーブルムIV峰を望む(パキスタン)



▲荒涼とした大地をソウルスモルクヘ(アイスランド)

●お問い合わせ・お申し込み

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業490号(第1種)

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 旅行業公正取引協議会会員 ボンド保証会員



ALPINE ツア-サービス 株式会社

e-mail: info@alpine-tour.com <http://www.alpine-tour.com>

創業50周年特設ホームページ <http://www.alpine-tour.co.jp>

東京	〒105-0004 東京都港区新橋 3-2-5 (第5 東洋海事ビル 4 階)	☎03(3503)1911	FAX 03(3508)2529
大阪	〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-4-3 (TCF 肥後橋ビル 2 階)	☎06(6444)3033	FAX 06(6444)3032
名古屋	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-23-2 (第3千福ビル 3 階)	☎052(581)3211	FAX 052(561)8338
福岡	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-2-8 (セントラルビル 5 階)	☎092(715)1557	FAX 092(715)0826

営業時間のお知らせ / 平日:9:30~18:30、土日祝:定休

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明(東京) 大島義広(大阪) 中川元宏(名古屋) 渡部秀樹(福岡)

北海道 / 北海道地区総代理店(株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目 ☎011(711)7106 FAX 011(731)1456

(受託販売) 観光庁長官登録旅行業第923号 総合旅行業務取扱管理者・植田拓史

※北海道地区総代理店へはフリーコールはございませんので、直接おかけください。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱責任者にお訊ねください。

山旅専用フリーコール

0120-938-290

ネイチャリングツアー
専用フリーコール

0120-938-248